

総括質問

総括質問は13人の議員が行いました。
（質問者の文責により、質問と答弁の
要旨を掲載しています。）

平塚クラブ

白井 照人 議員

グリーンニュー デール基金条例

問 国は法改正により、地球温暖化対策の推進と当面の雇用創出等を支援するため、補助金交付を決めた。本市の実行計画はどのように拡充するのか伺う。

環境部長 市民・事業者・行政等で「実行計画協議会」を組織し、本市の自然的・社会的条件に応じた具体的な実施性のある施策を考えている。

問 基金の目的を踏まえ、具体的にどのように活用するのか。

環境部長 22年度・23年度で防犯街路灯をLEDにする照度アップ事業を行う。

問 本市の防犯街路灯の照度は80^{ルクス}、42^{ルクス}、20^{ルクス}がある。基金の目的からすると環境負荷の大きい80^{ルクス}から交換するべきではないのか。

市民部長 指摘のとおりだが、犯罪が起こりにくい環境をつくるため照度の低い20^{ルクス}から切り替えていく。

新たなごみ焼却炉の 整備運営事業

問 平成21年11月に、新ごみ焼却炉の整備を行う優先

交渉権者が決まったが、その議事録の内容等が示されなかった理由を聞きたい。

環境部長 透明性、公平性、競争性の確保のため審査段階での公表は行わなかった。そのことで厳正で適正な審査ができたと考えている。

問 今回の事業者選定は技術点と価格点に基づく総合評価を行い、最高得点の応募者を交渉権者と決定する方法で行われた。建設後20年使用するため不安が残る。企業のコンプライアンス、社会的責任が重要だ。最終審査に残った3社は、応募期間中に事故を起こし、指名停止措置を受けている疑いがある。これらを検証するための第三者委員会を設置し検証すべきではないか。

環境部長 審査会の中で指名停止の話もあったが、審査上は問題ないので審査を続けた。公平性、透明性のある審査を行った。

市長 指名停止があったかどうかは報告がなく知らなかったが、説明をきちんとさせていたきたい。

出縄 喜文 議員

大型生ごみ処理機 設置モデル事業

問 めぐみが丘の自治会で

取り組むとのことだが、これはすばらしい事業である。学校や事業者での可能性はあるのだが、自治会というところで取り扱うというのは非常に難しいことである。

この大型生ごみ処理機のリース料は22年度126万円という予算だが、購入する場合には約420万円である。ただし、建屋を設置する費用等が350万円かかり、合計では約750万円となる。これで100世帯分のごみを処理するわけである。モデル事業だから3年か5年の間で結論を出さなければならぬと考えるが、その期限を聞きたい。

現在小学校2校で実施しているが、生ごみ処理機で処理したものは一次発酵だけである。たい肥にするには二次発酵が必要であり、二次発酵までできる生ごみ処理機にすべきだと思うが見解を聞きたい。

環境部長 2、3年以内に結論を出す考えでいるが、この費用対効果として、提案のあった二次発酵にする

必要性についても、事業を実施していく中で検証していかなければならない。

家庭ごみ収集業務

問 民間委託、戸別収集とあるが、基本的に有料化には反対である。現在、現業職を採用していないため、いすれごみを収集する職員がいなくなるはずである。同時にごみステーションでの収集というのが非常に問題となっている。カラスだけの話ではない。ごみステーションの近くの住民と遠い住民との話など苦情もいろいろあるはずだ。そういうことを含めると理想としては戸別収集が一番よいのではないか。さらに言えば戸別収集と同時に夜間収集の実施である。そうすればカラスの被害も相当防げるはずである。民間委託、戸別収集、有料化を含めていつまでに結論を出すのか。

環境部長 民間委託、戸別収集、夜間収集を含め、有料化については慎重に検討していく。

湘南民主クラブ

府川 正明 議員

競輪事業の今後は

問 現在、競輪事業の売上額は大幅に減少し、平塚競

市民派の会 端 文昭 議員

平成22年度施政方針 と予算案について

問 平成21年12月定例会において、22年度当初予算は約40億円の財源不足が見込まれると答弁していたが、その後どのように収支の均衡を図ったのか。

企画部長 歳入歳出の両面で精査を行った。歳入ではたばこ税および市債を増額し、歳出では次期環境事業センター整備、道路や公園等の事業などを減額した。

問 心身障害者福祉手当の一部適用除外や高齢者バスカードの廃止理由を問う。

企画部長 昨年行った仕事の点検作業（事業仕分け）の結果を踏まえ、縮小・廃

止とした。

問 障がい者や高齢者など声を出しづらい方に関する事業からカットするよう予算編成をしたのか。

市長 決してそうではなく、予算全体を見てほしい。それらの事業は当初の目的が達成されたり、違う目的に使われているという認識もある。行政は弱者に対する最後のセーフティネットとして役割を果たさなければいけないと認識している。

仕事の点検作業

問 点検作業の結果は予算案にどう反映したのか。

企画部長 自主防災組織支援事業等4事業を休止・廃止し、平和意識普及・啓発事業等3事業を縮小した。

問 点検作業の結果を予算に反映したり、しなかったりしているが、トップの判断で変えたのか。

市長 トップダウンで変えたものは一つもなく、仕事の点検作業の趣旨を逸脱するようなことは一切ない。

重度障害者医療費 助成制度の継続を

問 重度障害者医療費助成制度を見直す旨が担当部署から説明されたが、その経緯を伺いたい。

福祉部長 県と市が約半分ずつ助成してきた。県は平成20年10月から65歳以上新規手帳取得者の制度非該当などを導入した。県の補助金が減額され、市の負担が増大した。そのことなどから、65歳以上で新規に受給資格該当となった方を対象外とするものである。

問 市の負担で制度を継続すべきと考えるが。

福祉部長 このままでは制度の安定的、継続的運営は難しい。他の制度や国の施

旧波浪観測塔とのかかわりは

問 今後市としてどのようににかかわっていくのか。

経済部長 庁内関係各課による、「平塚沖総合実験タワー活用庁内調整会議」を設置しており、今後さまざまな分野での利活用方策について検討し、東京大学と連携した取り組みを進めていきたい。

山口 聖 議員

ツインシティ整備

問 新幹線新駅については今まで数々の議論があった

漁業・農業の充実

問 これまでも地場産業活性化に向け、さまざまな取

輪場も一般会計への繰出金が減少している。今後どのように事業に取り組むのか。

公営事業部長 競輪界全体を見ても、赤字になっている。競輪場が増加している。

輪場も一般会計への繰出金が減少している。今後どのように事業に取り組むのか。

公営事業部長 競輪界全体を見ても、赤字になっている。競輪場が増加している。